

・平日の都市圏発の流動は、都市圏着と同様の傾向となっている。

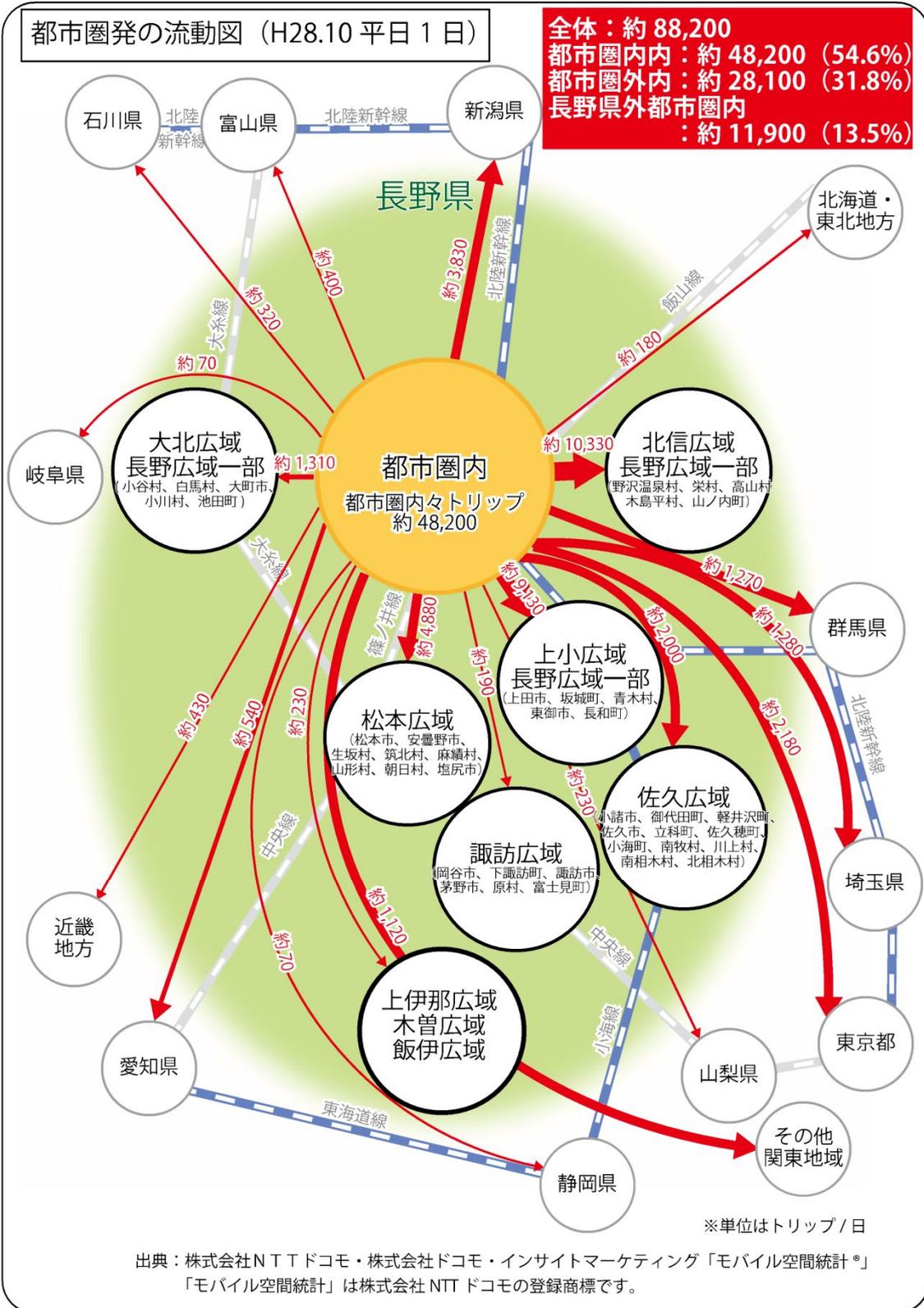


図 3.25 都市圏と都市圏外との結びつき (都市圏発 平日)

- ・ 休日の都市圏着の流動をみると、県内では平日と同様に、北信広域(野沢温泉村など)・上小広域(上田市)から、約1万トリップ/日の移動が上位を占めている。
  - ・ また、県外からの流動は、平日の都市圏着に比べて増加している。
- 例1 新潟県→都市圏:平日約4千トリップ/日、休日約6千トリップ/日
- 例2 東京都・埼玉県・群馬県→都市圏:平日約5千トリップ/日、休日約6千トリップ/日

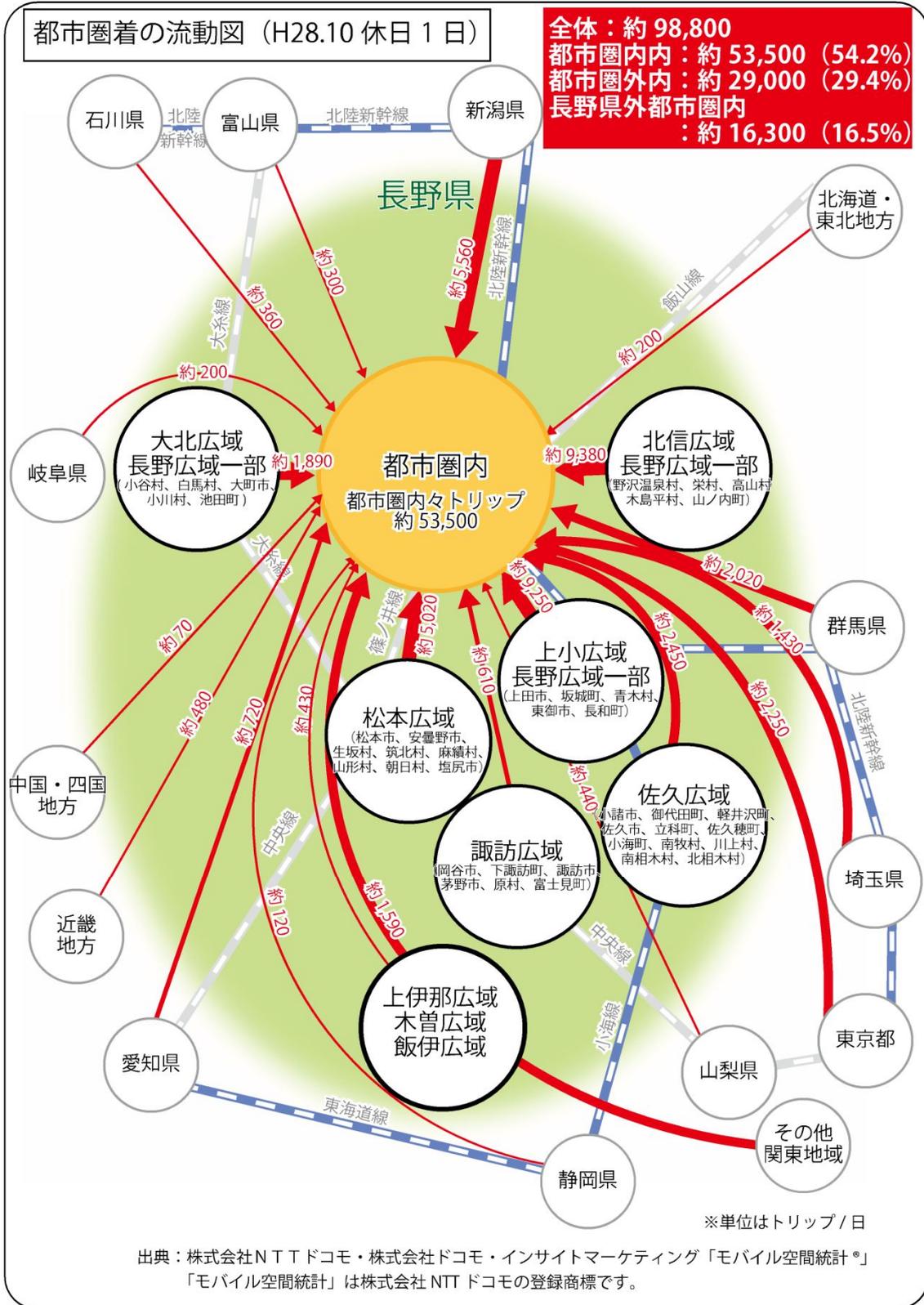


図 3.26 都市圏と都市圏外との結びつき (都市圏着 休日)

・県外へは、平日の移動が多かった新潟県、東京都・埼玉県・群馬県に加え、富山県・愛知県・その他関東地域(神奈川県・千葉県・茨城県・栃木県)への移動が増えている。

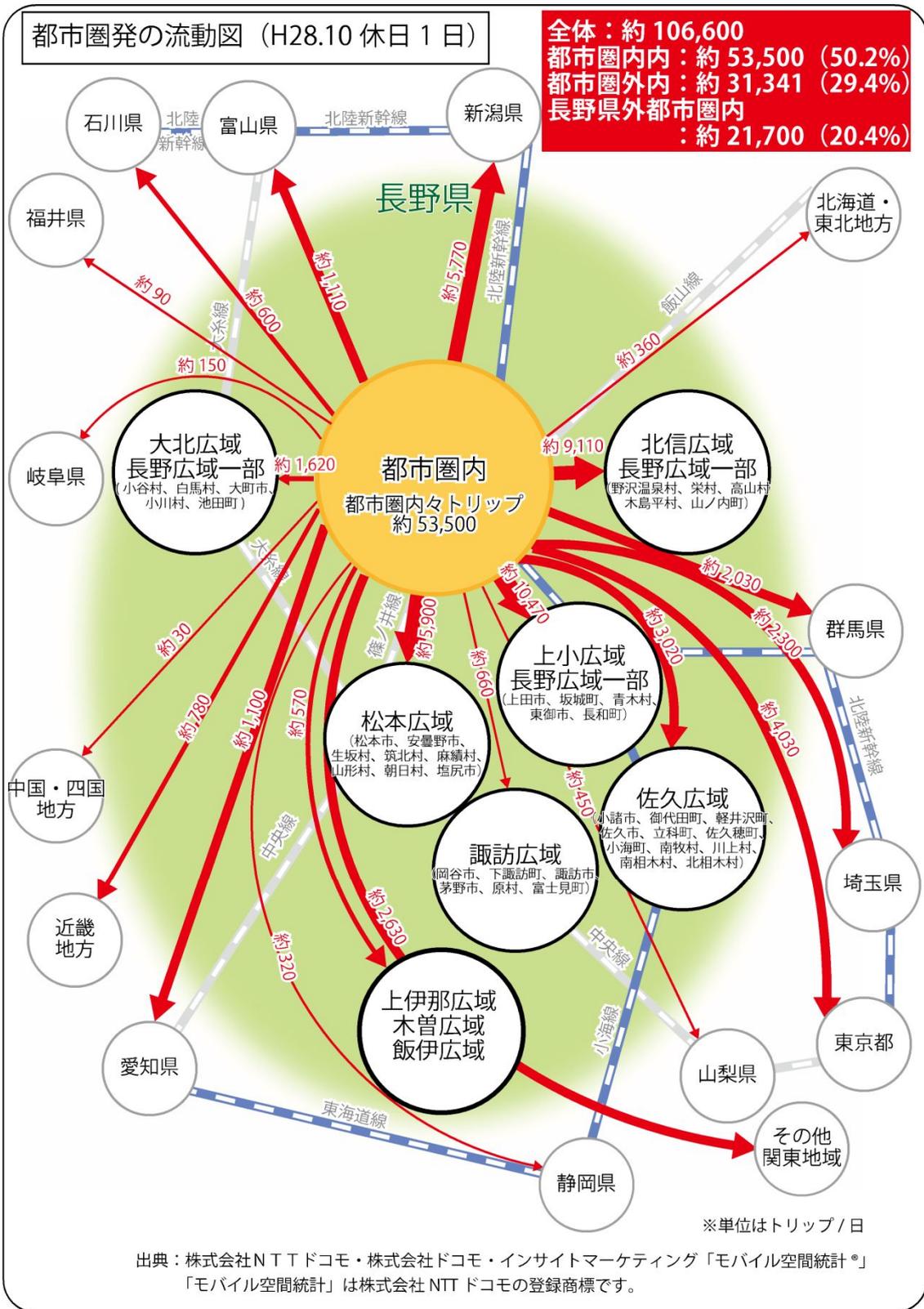


図 3.27 都市圏と都市圏外との結びつき (都市圏発 休日)

#### (4) 公共交通利用者調査

- ・公共交通利用者を対象とした意識調査結果では、年齢別に利用目的が異なり、30歳代～50歳代では「ビジネス」・「通勤」、70歳以上では「私事」目的が主であることが分かる。
- ・求められるサービスでは、「運行頻度を高める」が在来線・路線バスともに上位である。

#### [公共交通利用者の居住地]

- ・在来線利用者は、都市圏内居住者の割合が約74%を占めている。路線バス利用者は、都市圏内居住者の割合が87.7%である。

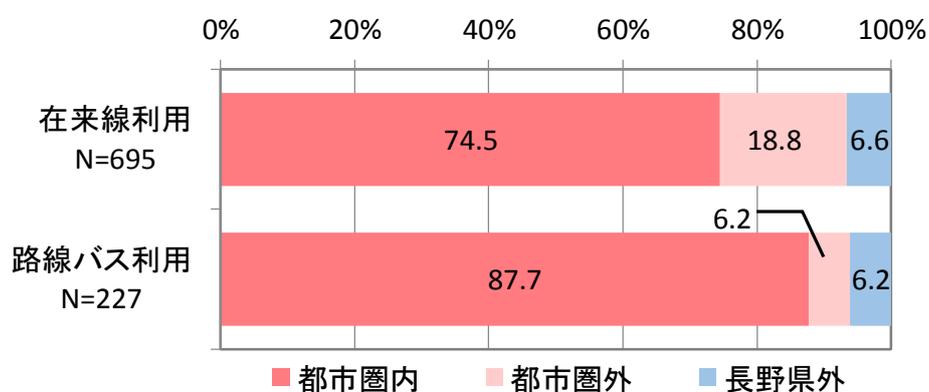


図 3.28 利用者の居住地

**[移動の目的（居住地別・年齢別）]**

- ・居住地別の移動目的では、「通勤・通学」目的が都市圏内で 69.0%、都市圏外で 82.0%を占めている。
- ・年齢別の移動目的では、30 歳代～50 歳代で、「ビジネス」・「通勤」が約 80%を占めている。一方で、70 歳代以上では、「通院」「レジャー・レクリエーション」「その他私事」など私事目的が約 60%以上を占めている。

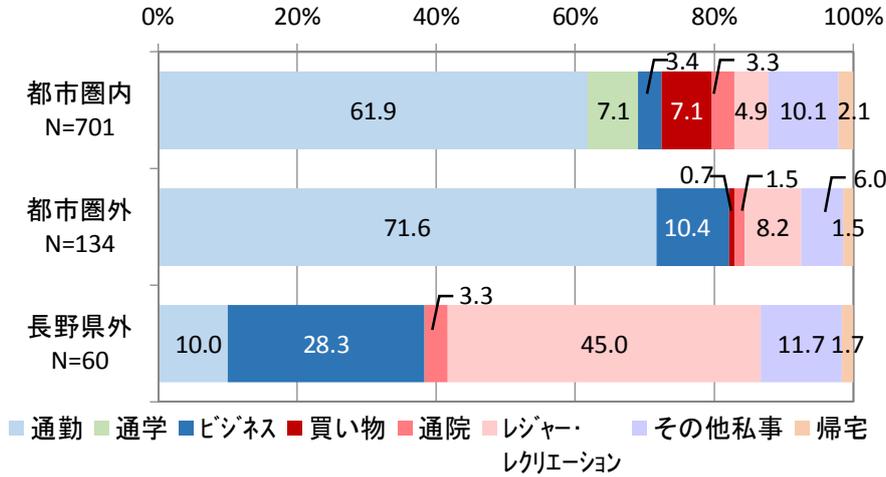


図 3.29 居住地別の移動の目的

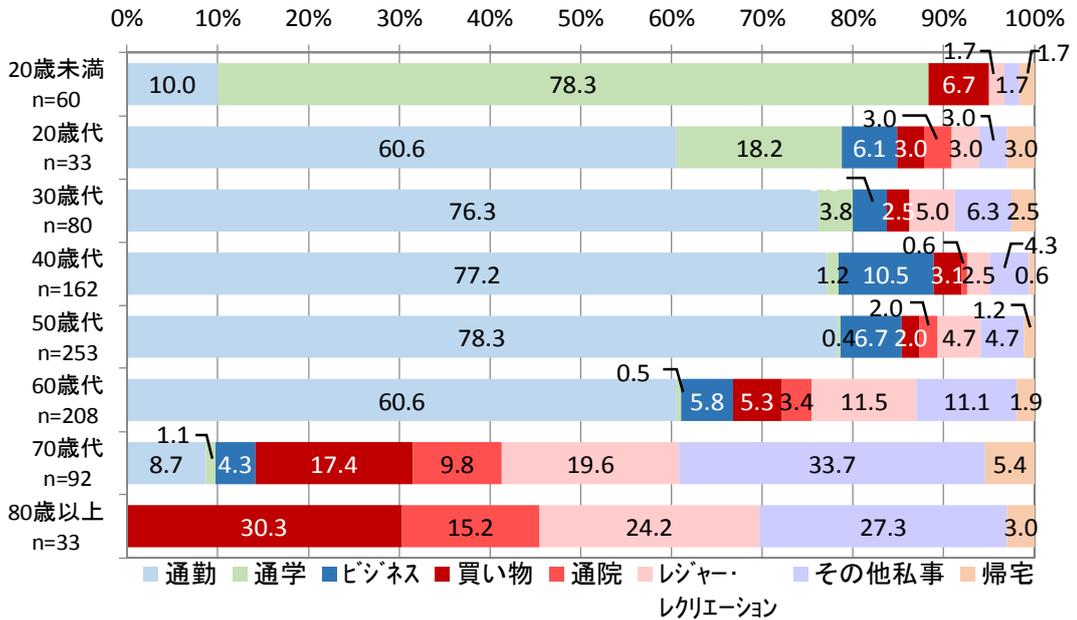


図 3.30 年齢別の移動の目的

**[利用頻度（居住地別・年齢別）]**

- ・居住地別の利用頻度では、「ほぼ毎日」・「週に3～5回」を合わせると、都市圏内居住者では73.4%、都市圏外居住者では77.7%を占めている。
- ・年齢別の利用頻度では、20歳代～50歳代で、「ほぼ毎日」・「週に3～5回」が80%以上を占めている。一方で、70歳代以上では、「月に1、2回」・「年に数回」が半数以上を占めている。

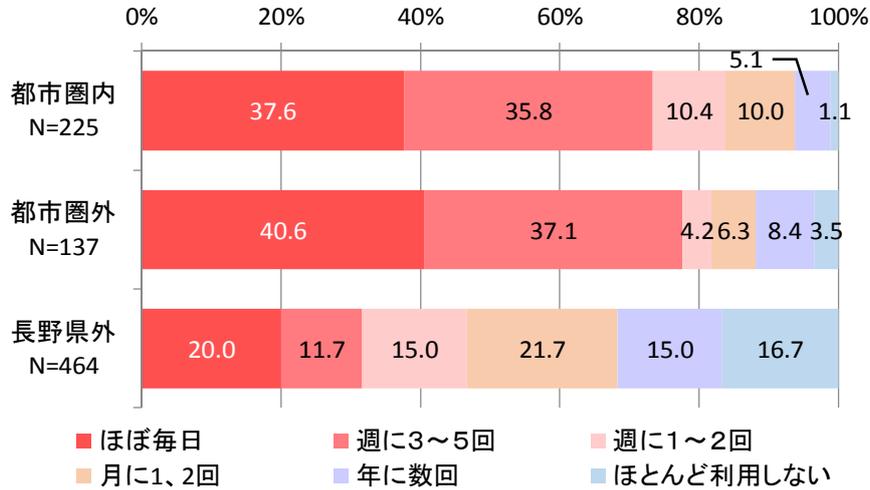


図 3.31 居住地別の利用頻度

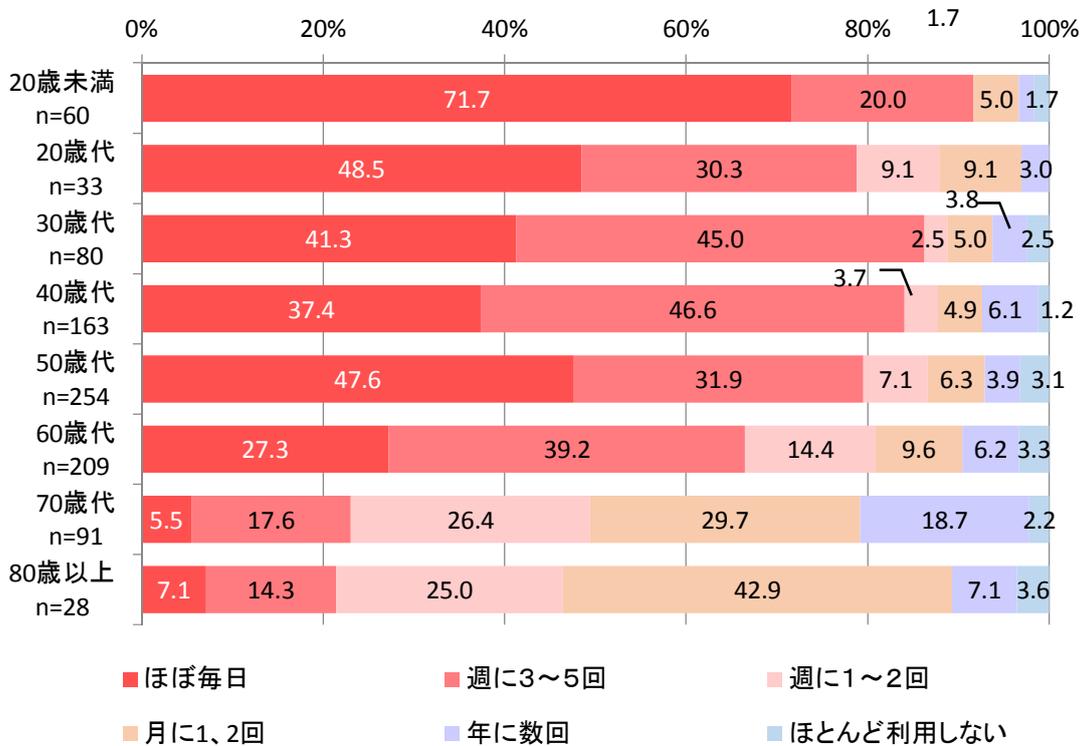


図 3.32 年齢別の利用頻度

### [求められるサービス（在来線・路線バス別）]

- ・在来線利用者が求めるサービスについては、「運行頻度を高める」が約 50%と一番高くなっており、続いて「運賃設定や割引サービス」、「鉄道との乗り継ぎをよくする」の順である。
- ・路線バス利用者が求めるサービスについては、「運行頻度を高める」が半数近くと一番高くなっており、続いて「始発や終発時間の延長」、「鉄道との乗り継ぎをよくする」の順である。

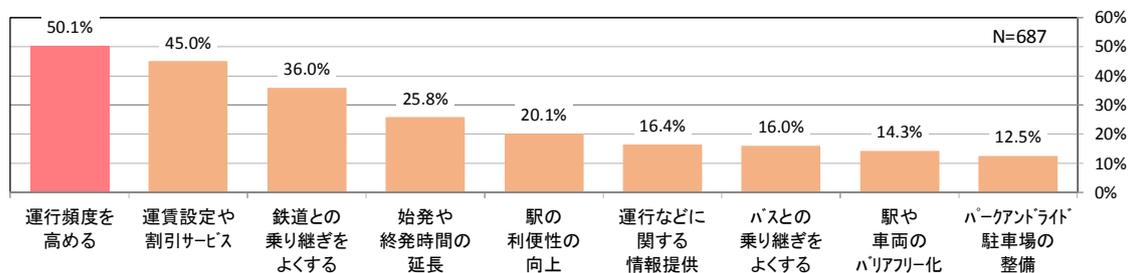


図 3.33 在来線利用者が求めるサービスの移動の目的

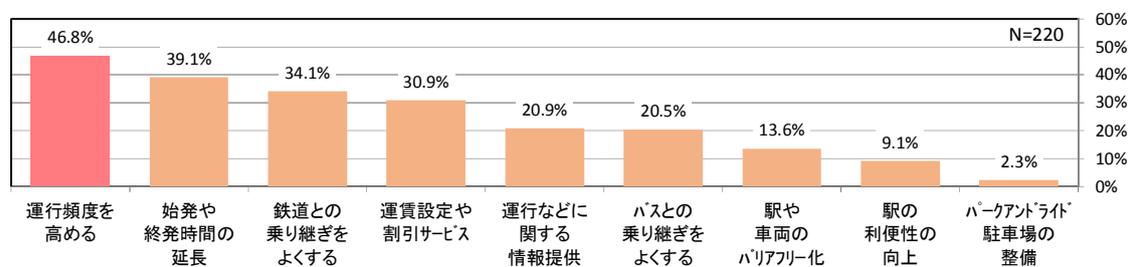


図 3.34 路線バス利用者が求めるサービスの移動の目的

## 4. スクリーンライン、コードンライン調査

### (1) スクリーンラインと H27 全国道路・街路交通情勢調査※の比較

- [※全国道路・街路交通情勢調査：H22 以前の道路交通センサス（以下、道路交通調査）]
- ・H27 道路交通調査の観測地点のうち、丹波島橋および村山橋を対象に、平成 28 年に交通量調査を実施し、24 時間および時間帯別の交通量を比較した。
  - ・近年の丹波島橋・村山橋の 24 時間交通量と概ね同じ傾向となっている。

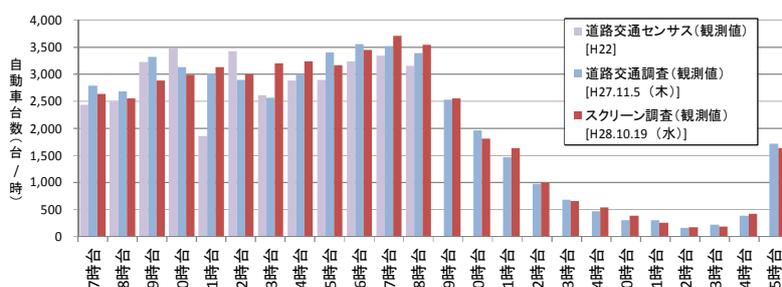


図 4.1 時間帯別交通量の比較（丹波島橋）

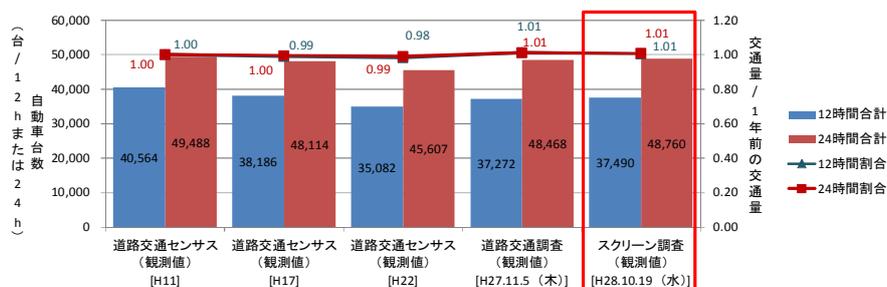


図 4.2 12・24時間交通量の比較（丹波島橋）

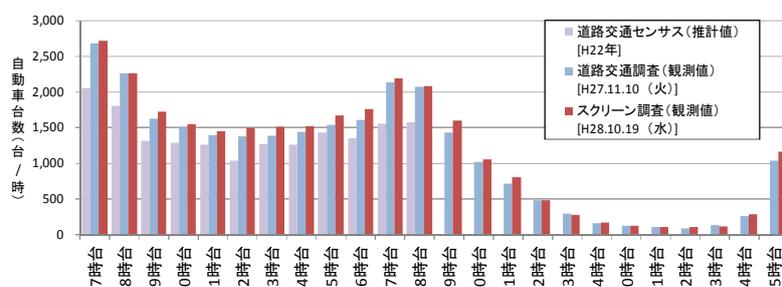


図 4.3 時間帯別交通量の比較（村山橋）

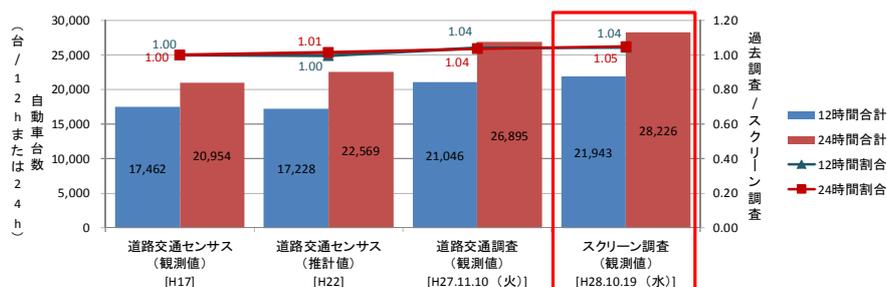


図 4.4 12・24時間交通量の比較（村山橋）

## (2) スクリーンライン・コードンラインの交通量 (H27 道路交通調査)

- ・長野都市圏のスクリーンラインの交通量は、27.6 万台/24hとなっており、一般国道18号の長野大橋の交通量が 5.1 万台/24hと最も多い。
- ・また、長野都市圏内外の境界(コードンライン)の交通量は 19.7 万台/24hとなっている。
- ・特に、高速道路では、千曲市と坂城町を結ぶ上信越自動車道の交通量が 3.3 万台/24hと最も多い。一般道では、千曲市と坂城町を結ぶ国道 18 号の交通量が 2.0 万台/24hと最も多い。

表 4.1 スクリーンライン・コードンラインの交通量 (H27道路交通調査)

	観測地点数	24h 交通量	12h 交通量
都市圏全体	202 箇所	159.4 万台/24h	209.9 万台/12h
スクリーンライン	15 箇所	27.6 万台/24h	21.2 万台/12h
コードンライン	31 箇所	19.7 万台/24h	14.7 万台/12h

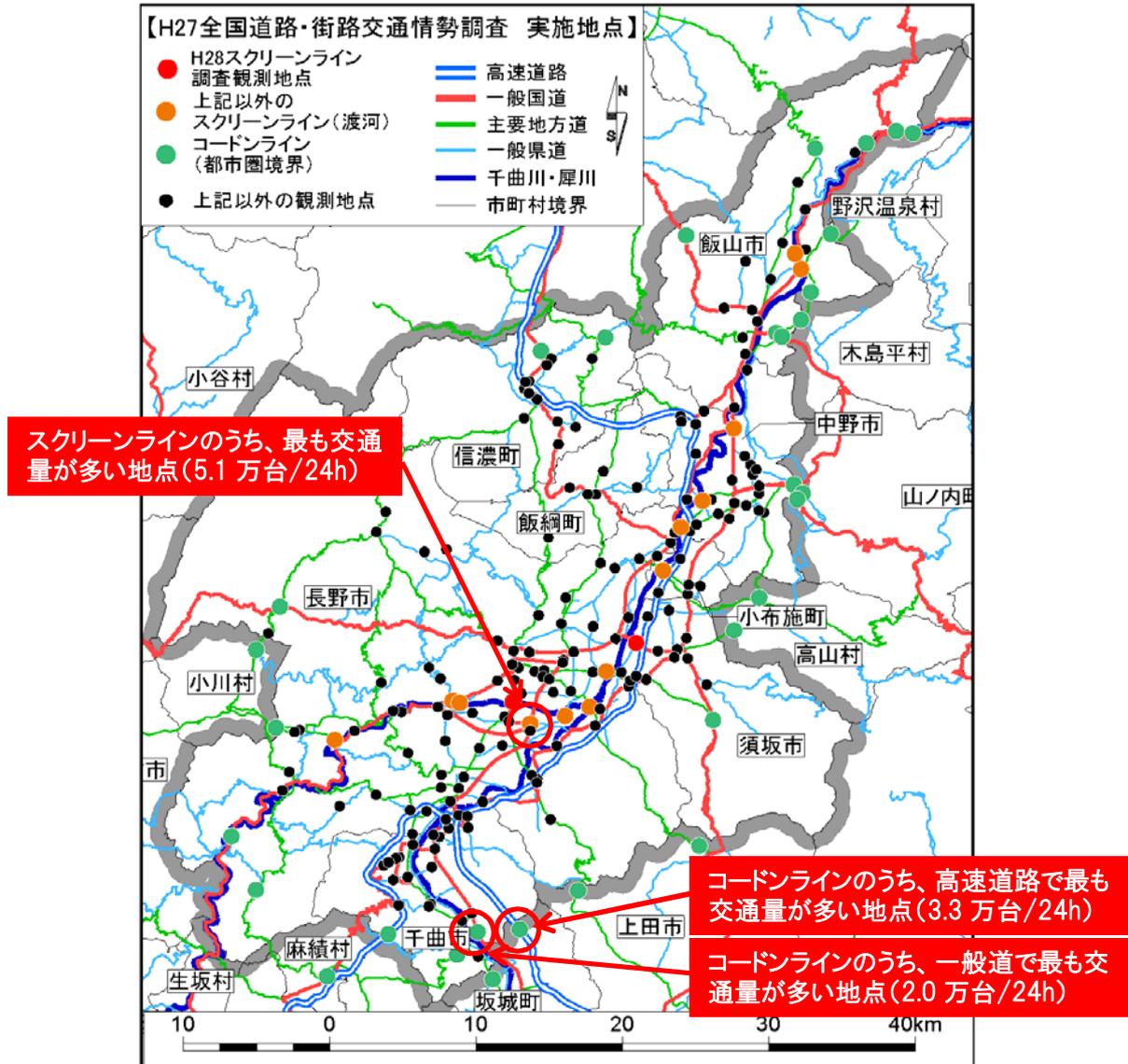


図 4.5 スクリーンライン・コードンライン観測地点

## 5. 都市圏交通サービスとポテンシャル

### (1) Bゾーン別施設立地状況

- ・Bゾーン単位の主要施設立地状況と1施設当たりの人口・発生集中度の関係を整理し、充足状況を確認した。
- ・1施設当たりの発生集中度をみると、大ゾーン2(南長野)、5(長野駅東)、9(芹田大豆島)が多く、次いで大ゾーン1(長野駅前)、15(豊野町)と長野市に集中している。

表 5.1 Bゾーン別の人口・発生集中度と施設分布の比較

No	ゾーン名	人口 (人)	発生 集中度 (TE)	学校数 ※1	大規模 商業施 設数※2	病院数 ※3	福祉施 設数※4	施設数 総計	発生量/ 施設数	主要施設
1	01長野駅前(長野市)	6,267	105,428	1	10	2	2	15	7,029	ながの東急百貨店、イトーヨーカドー長野店、 長野中央病院
2	02南長野(長野市)	14,660	107,092	7	1	1	1	10	10,709	信州大学
3	03三輪(長野市)	14,066	59,186	7	2	1	1	11	5,381	長野県短期大学、イオンタウン長野三輪
4	04吉田(長野市)	14,017	59,496	3	4	4	3	14	4,250	ながの東急ライフ
5	05長野駅東(長野市)	18,020	76,120	3	1	4	0	8	9,515	
6	06安茂里(長野市)	19,474	67,675	5	3	0	3	11	6,152	
7	07長野北(長野市)	51,087	201,646	12	9	4	8	33	6,110	清泉女学院大学、マツヤショッピングモール、 長野市民病院
8	08長野東(長野市)	36,978	171,644	10	16	3	0	29	5,919	長野ホリデイスクエア、ベシア長野東店
9	09芹田大豆島	35,290	156,890	5	11	1	0	17	9,229	信州大学、ケースタウン若里、ニトリ長野店、 長野赤十字病院
10	10芋井小田切(長野市)	3,187	8,397	2	0	0	1	3	2,799	
11	11篠ノ井(長野市)	34,098	127,964	9	7	1	4	21	6,094	篠ノ井イーストショッピングパーク、 篠ノ井総合病院
12	12川中島(長野市)	65,672	271,272	13	22	1	6	42	6,459	長野保健医療大学、SEIYU川中島店、 ホームセンタームサシ長野南店
13	13七二会信更(長野市)	3,729	8,834	4	0	0	2	6	1,472	
14	14若穂松代(長野市)	28,973	107,583	12	2	2	6	22	4,890	アグリまつしろ、長野松代総合病院
15	15豊野町(長野市)	9,518	35,039	3	1	1	0	5	7,008	
16	16大岡(長野市)	1,008	2,873	2	0	0	2	4	718	
17	17信州新町(長野市)	4,319	14,921	0	0	0	0	0	-	
18	18中条(長野市)	1,878	6,206	3	0	0	2	5	1,241	
19	19戸隠(長野市)	3,619	9,613	3	0	0	1	4	2,403	
20	20鬼無里(長野市)	1,448	4,761	2	0	0	1	3	1,587	
21	21須坂(須坂市)	42,766	174,639	18	9	2	11	40	4,366	イオン須坂店、県立信州医療センター
22	22須坂東(須坂市)	6,823	20,194	2	0	0	3	5	4,039	
23	23中野(中野市)	39,641	160,352	14	12	1	12	39	4,112	イオン中野店、ベシア中野店、 北信総合病院
24	24豊田(中野市)	4,087	11,789	3	0	1	3	7	1,684	
25	25飯山市	21,400	74,851	10	6	1	10	27	2,772	ベシア飯山店、飯山赤十字病院
26	26更埴(千曲市)	36,685	145,514	11	11	3	9	34	4,280	ベシア更埴店、本久デイトー千曲店、 千曲中央病院
27	27戸倉(千曲市)	17,034	62,628	4	2	0	3	9	6,959	綿半スーパーセンター千曲店
28	28上山田(千曲市)	5,534	19,566	1	1	1	1	4	4,892	
29	29小布施町	10,754	39,145	2	1	1	6	10	3,915	ツルヤ小布施店
30	30信濃町	8,668	29,117	2	1	1	4	8	3,640	
31	31牟礼(飯綱町)	6,730	22,952	2	0	1	5	8	2,869	
32	32三水村(飯綱町)	4,547	16,568	4	0	0	3	7	2,367	
総計		571,977	2,379,955	179	132	37	113	461	5,163	

※1 小学校・中学校・高校・大学のみ  
 ※2 店舗面積が1,000㎡以上の施設のみ  
 ※3 病院施設のみ(20床以上)  
 ※4 経営主体が国・地方公共団体の施設のみ(入居あり)  
 ■ 上位3位までを着色

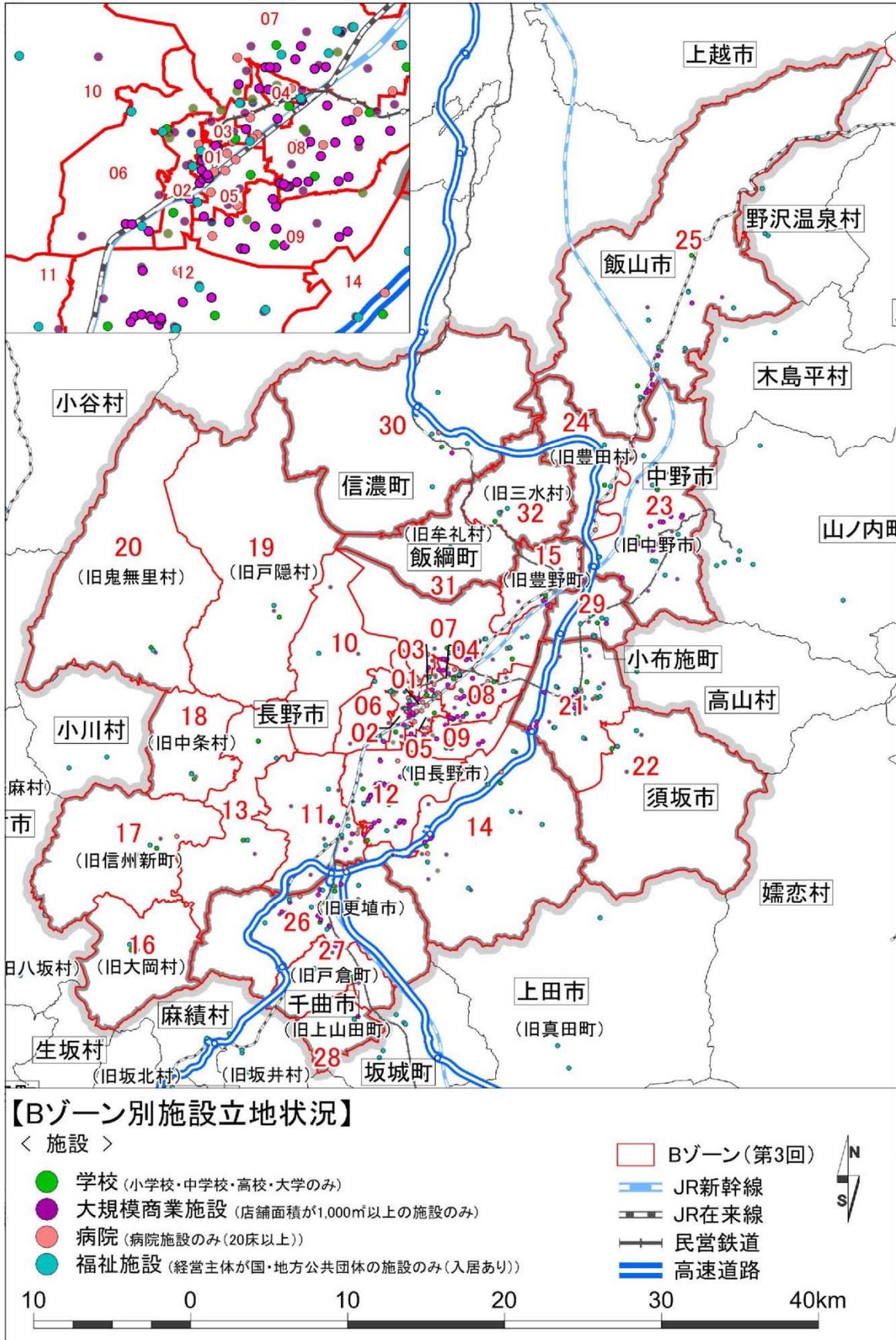


図 5.1 Bゾーン別の施設の分布状況

## (2) Bゾーン間交通サービス

- ・道路網(路線数・車線数)、バス網(系統・運行本数)、鉄道網(路線数・運行本数)の配置状況を、ゾーン別に整理した。
- ・ゾーン境界を通過する道路網・バス網・鉄道網を対象とし、路線数や系統数、運行本数を整理した。ただし、同一路線が一つのゾーン境界を複数回、跨ぐ場合は1路線分のデータを整理した。

表 5.2 Bゾーン別の交通サービス (道路・バス・鉄道)

No	ゾーン名	道路 路線数	車線※1		バス※2		鉄道	
			4車線	2車線	系統	運行本数	路線数	運行本数 (上下計)
1	01長野駅前(長野市)	6	4	1	71	1,436	5	413
2	02南長野(長野市)	8	4	3	111	1,885	0	0
3	03三輪(長野市)	4	2	0	34	1,500	1	111
4	04吉田(長野市)	6	2	1	17	644	1	189
5	05長野駅東(長野市)	5	3	2	18	340	5	413
6	06安茂里(長野市)	9	0	8	25	643	1	100
7	07長野北(長野市)	13	0	10	25	915	1	189
8	08長野東(長野市)	14	6	3	15	362	2	189
9	09芹田大豆島	14	9	6	25	479	0	0
10	10芋井小田切(長野市)	10	0	8	14	170	0	0
11	11篠ノ井(長野市)	22	5	15	12	160	2	138
12	12川中島(長野市)	18	7	10	51	744	1	104
13	13七二会信更(長野市)	14	0	10	9	135	0	0
14	14若穂松代(長野市)	18	5	13	10	213	0	0
15	15豊野町(長野市)	10	0	10	1	8	2	78
16	16大岡(長野市)	7	0	6	6	36	0	0
17	17信州新町(長野市)	10	0	8	9	78	0	0
18	18中条(長野市)	7	0	5	3	44	0	0
19	19戸隠(長野市)	8	0	6	7	94	0	0
20	20鬼無里(長野市)	4	0	4	2	26	0	0
21	21須坂(須坂市)	14	4	10	8	170	1	119
22	22須坂東(須坂市)	4	0	4	5	43	0	0
23	23中野(中野市)	15	2	9	8	117	1	95
24	24豊田(中野市)	9	3	6	1	16	1	32
25	25飯山市	16	1	12	6	112	2	32
26	26更埴(千曲市)	16	5	10	11	89	2	96
27	27戸倉(千曲市)	10	2	8	24	125	2	70
28	28上山田(千曲市)	8	0	7	14	78	0	0
29	29小布施町	10	2	8	0	0	1	94
30	30信濃町	13	1	10	1	6	1	40
31	31牟礼(飯綱町)	10	0	7	8	46	1	40
32	32三水村(飯綱町)	9	2	6	6	17	1	40

※1 高速道路、一般国道、主要地方道、一般県道のみ

※2 高速バスを除く平日のみ

■ 上位5位までを着色

